

急性中毒症例調査用紙

基本情報

発症年月日 20 年 月 日 記入年月日 20 年 月 日

施設名 _____

記入者名 _____

記入者所属 _____

患者 年齢 歳 性別 男・女 体重 () kg 職業 () _____

既往症の有無 1. 無, 2. 有 () _____

中毒原因物質 商品名 (物質名) _____ 剤 (剤名をあわせて)

経路 1. 経口, 2. 吸入, 3. 経皮, 4. 眼, 5. 耳, 6. 咬傷, 7. 刺傷, _____, 10. 針刺, 11. 全身曝露, 8. 注射 (具体的に), 9. 粉砕 (具体的に), _____, 99. 不明

98. その他 (具体的に) _____

発症年月日 20 年 月 日 時 分 (24時間表記) (午前・午後) (確定・推定・不明)

発症場所 1. 居室内, 2. 仕事場 (具体的に), 3. 医療施設, 4. 高齢者施設, 5. 学校・幼稚園・保育所, 6. 屋外の公共スペース (具体的に), _____, 7. 市内 (具体的に), _____, 99. 不明

8. 屋外 (具体的に) _____

98. その他 (具体的に) _____

状況 1. 不慮 (), 2. 医療上の事故, 3. その他の原因, 8. その他の不慮の事故, 9. 不明

2. 故意 (), 3. 医療上の事故, 4. 誤用, 6. 悪意による事故, 9. 不明

8. その他 (具体的に) _____

9. 不明

現病態 / 観察状況 _____

発症年月日 20 年 月 日 時 分 (24時間表記)

症状の有無 来院時 (主訴) 1. 無, 2. 有, 9. 不明

来院時 (初診時状況) 1. 無, 2. 有

初診時 体温 ℃, 血圧 / , 脈拍数 / 分, 呼吸数 / 分, 意識レベル GCS=E () V () M ()

来院後 (経過中症状) 1. 無, 2. 有

来院時 1. 無, 2. 有, 9. 不明

来院後 1. 無, 2. 有

診断 1. 無, 2. 有 () _____

入院期間 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日 ④ 退院後フォローを含む

転院の有無 1. 無, 2. 有 () _____

転院先病名, 診療科, 担当医名, 電話番号 _____

転院 1. 転院, 2. 略治, 3. 米亡, 9. 不明

死亡の場合 死亡年月日・時刻 月 日 時 分 死因: _____

後遺症の有無 1. 無, 2. 有 () _____

重症度 1. 無重症, 2. 軽症, 3. 中等症, 4. 重症, 5. 死亡

急性中毒症例調査用紙

症状 1

器別	症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
意識時	昏倒・意識消失	昏倒・意識消失	月 日 時 分	月 日 時 分	
呼吸器	呼吸困難	呼吸困難	月 日 時 分	月 日 時 分	
消化器	嘔吐・下痢	嘔吐・下痢	月 日 時 分	月 日 時 分	
循環器	胸痛・動悸	胸痛・動悸	月 日 時 分	月 日 時 分	
泌尿器	血尿・蛋白尿	血尿・蛋白尿	月 日 時 分	月 日 時 分	
皮膚	発疹・紅斑	発疹・紅斑	月 日 時 分	月 日 時 分	
その他	その他	その他	月 日 時 分	月 日 時 分	

急性中毒症例調査用紙

症状 4

器官別	症状群 (該当するものに○) 症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
白血球減少	白血球減少/中性白血球減少/顆粒球減少	月 日 時 分	月 日 時 分	
出血傾向	出血傾向/尿潜血/尿潜血/尿潜血/PT延長/PT/APTT延長/血小板減少/血小板減少/血小板減少/血小板減少	月 日 時 分	月 日 時 分	
溶血	黄疸/血清胆红素値上昇/ヘモグロビン尿	月 日 時 分	月 日 時 分	
機能的異常	肝機能異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
アルカリホスファターゼ	代償性アルカリホスファターゼ/肝機能異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
アシトローシス	代償性アシトローシス/血清アンジオテンジノゲン/血清アンジオテンジノゲン/血清アンジオテンジノゲン/血清アンジオテンジノゲン	月 日 時 分	月 日 時 分	
異常ヘモグロビン	一酸化炭素ヘモグロビン/スルホヘモグロビン/異常ヘモグロビン	月 日 時 分	月 日 時 分	
血糖	血糖	月 日 時 分	月 日 時 分	
着色尿	ビリルビン尿/胆汁色素尿/尿中ビリルビン/尿中ビリルビン	月 日 時 分	月 日 時 分	
尿沈渣異常	円柱尿/尿中シロウ酸/尿中シロウ酸/尿中シロウ酸	月 日 時 分	月 日 時 分	
尿定性テスト異常	尿蛋白尿/尿中シロウ酸/尿中シロウ酸/尿中シロウ酸	月 日 時 分	月 日 時 分	
胸部レントゲン異常	胸郭レントゲン異常/心影拡大/肺野陰影/肺野陰影/肺野陰影	月 日 時 分	月 日 時 分	
心電図上、不整脈	心電図異常/心電図異常/心電図異常/心電図異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
心電図上、波形異常	心電図異常/心電図異常/心電図異常/心電図異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
心エコー上、心臓形状異常	心臓形状異常/心臓形状異常/心臓形状異常/心臓形状異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
心臓カテーター上、血管抵抗異常	心臓カテーター上、血管抵抗異常/心臓カテーター上、血管抵抗異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
内服薬上、消化管粘膜病変	消化管粘膜病変/消化管粘膜病変/消化管粘膜病変/消化管粘膜病変	月 日 時 分	月 日 時 分	
頭部CT上、脳血管病変	脳血管病変/脳血管病変/脳血管病変/脳血管病変	月 日 時 分	月 日 時 分	
頭部CT上、脳浮腫	脳浮腫/脳浮腫/脳浮腫/脳浮腫	月 日 時 分	月 日 時 分	
脳脊髄液検査異常	脳脊髄液検査異常/脳脊髄液検査異常/脳脊髄液検査異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
脳脊髄液検査異常	脳脊髄液検査異常/脳脊髄液検査異常/脳脊髄液検査異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
眼底検査異常	眼底検査異常/眼底検査異常/眼底検査異常/眼底検査異常	月 日 時 分	月 日 時 分	
生検異常	生検異常/生検異常/生検異常/生検異常	月 日 時 分	月 日 時 分	

その他

その他 症状関連 特記事項

検査

急性中毒症例調査用紙

臨床化学検査花紙類 (別紙添付でも可)

検査項目	正常値	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
赤血球(RBC)						
白血球(WBC)						
血板(PLT)						
AST(GOT)						
ALT(GPT)						
LDH						
クレアチンキナーゼ(CK)						
コリンエステラーゼ(CHIE)						
アンモニア(NiL)						
総ビリルビン(TB)						
PT						
BUN						
クレアチニン(Cr)						
ナトリウム(Na)						
カリウム(K)						
カルシウム(Ca)						
マグネシウム(Mg)						
アルブミン(Alb)						
CO-ヘモグロビン(CO-Hb)						
FiO ₂						
pH						
PCO ₂						
BE						
HCO ₃						

その他検査

検査項目	検査日	時刻	所見	特記事項
単純X線撮影	月 日 時 分			
CT	月 日 時 分			
MRI	月 日 時 分			
超音波検査[エコー]	月 日 時 分			
内服薬検査	月 日 時 分			
心電図検査(EKG)	月 日 時 分			
心臓カテーター	月 日 時 分			
脳脊髄液検査(BEG)	月 日 時 分			
脳脊髄液検査	月 日 時 分			
体性感覚誘発電位(SEP)	月 日 時 分			
筋電図検査(EMG)	月 日 時 分			
呼吸機能検査	月 日 時 分			
フローボリュームカーブ	月 日 時 分			
呼吸力学分析	月 日 時 分			
平衡機能検査	月 日 時 分			
眼底検査	月 日 時 分			
基礎代謝率	月 日 時 分			
病理組織検査	月 日 時 分			

急性中毒症例調査用紙

サマリー・コメント

症例サマリー 自校のサマリー添付でも結構ですが、個人が特定されない形式でお問い合わせします

主治医コメント ① 原因因物質と症状の因果関係等を念め、先生のお感じになったことをお書きください

アセトアミノフェン

薬量	血中濃度	年齢 性別	曝露物質・曝露量	経路	症状	治療	入院 都道府県 ID
33500mg	95.3 μg/mL 2時間	41歳 女性 kg	ノーシン(16T推定)、ナルミックA(アセトアミノフェン2700mg相当推定)、ハッキリエース(アセトアミノフェン21900mg相当推定)、新ルルA(アセトアミノフェン6500mg相当推定)、ハイロン(不明)、アネトン(不明)、センバア(不明)	経口	消化器系の刺激症状、意識障害、心電図上波形異常	活性炭投与、下剤投与、胃洗浄、輸液、アセチルシステイン	1日 埼玉県 710 1779
33500mg	17.757 μg/mL 24時間	20歳 女性 50kg	ポナザゴールド(100T)、新ルルA錠(230T)、パブロンS錠(30T)	経口	消化器系の刺激症状、口渇、アシドーシス	アセチルシステイン、輸液	6日 新潟県 38 3486
33000mg	97.13 μg/mL 5時間	21歳 女性 kg	ルルA錠(2瓶)	経口	消化器系の刺激症状、意識障害、肝由来酵素異常	アセチルシステイン	5日 新潟県 24 3486
32100mg	182.6 μg/mL 5.5時間	31歳 女性 47kg	カロナール200mg(38T)、Tylenol 500mg(49T)	経口	消化器系の刺激症状、顔面蒼白、発熱、嘔吐、尿音、尿量の異常、意識障害、肝臓の異常、血尿(肉眼的)、皮膚の異常、肝由来酵素異常(GOT/100)、ビリルビン異常、肝由来酵素阻害剤投与、血球増加、白血球減少、貧血、白血球増多、出血傾向、白血球増多、腎不全、浮腫、テアノーゼ、リバーゼ異常	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、腸洗浄、酸素マスク、換気、人工呼吸、ステロイド投与、蛋白分解酵素阻害剤投与、血球増加、COHF、アセチルシステイン、グルカゴン・インスリン投与	19日 東京都 673 3022
28000mg	197 μg/mL 20時間程度	21歳 女性 kg	新ルルA錠(280T)	経口	症状なし	胃洗浄、下剤投与、輸液、アセチルシステイン	1日 新潟県 26 3486
26000mg	90 μg/mL 4時間72	28歳 男性 54kg	新ルルA錠260(110錠入りを2瓶半)	経口	呼吸器の刺激症状、胸呼吸、頻脈、嘔吐、下痢、感覚異常、心電図上 不整脈、肝由来酵素異常(GOT/100)	酸素マスク、輸液、アセチルシステイン	6日 新潟県 694 3486
24360mg	48.2 μg/mL 18時間	36歳 女性 kg	新ジキナ(144T)、ストップA(72T)、ニューカイチキ(38T)、富士胃腸薬(14pack)	経口	意識障害	胃洗浄、アセチルシステイン	7日 新潟県 48 3486
18000mg	65 μg/mL 4時間	36歳 女性 kg	新ルルA錠(180T推定)、エスタックイブ(20T推定)、不明の薬剤(15T推定)、ビール(不明)	経口	発熱、腹痛、意識障害、心電図上波形異常	輸液、胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、酸素マスク、アセチルシステイン	2日 埼玉県 724 1779
18000mg	18.1 μg/mL 4時間	22歳 女性 kg	新ルルA錠(180T)、薬(不明)、牛乳	経口	消化器系の刺激症状	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、アセチルシステイン	2日 埼玉県 78 1779
17400mg	108 μg/mL 10時間	19歳 女性 54kg	新ルルAゴールド(4瓶)、ベンザエース(1瓶)	経口	頻脈、意識障害、肝由来酵素異常	輸液、下剤投与、アセチルシステイン	6日 新潟県 688 3486
17000mg	12.2 μg/mL 4時間	21歳 女性 kg	新ルルA錠(170T)	経口	消化器系の刺激症状、意識障害、肝由来酵素異常、白血球増多	胃洗浄、活性炭投与、輸液	3日 神奈川県 57 3315
16000mg	43.7 μg/mL 6時間	26歳 男性 kg	パブロンS(180T)、キッチンハイター・粉末(不明)	経口	消化器系の刺激症状、発熱、高血圧	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、アセチルシステイン	2日 埼玉県 75 1779
15800mg	40.2 μg/mL 4時間	21歳 女性 50kg	パブロンゴールド(120T)、カロナール200mg(19T)、ナウゼリン10mg(8T)、ストロカイシ(18T)、マグラックス(10T)、アシンロン(8T)、ドグマチール50mg(10T)、コリオン(8T)、フスタゾール(4T)、タリビッド(2T)、ボルタレン25mg(3T)、アロゼン0.5mg(2T)	経口	消化器系の刺激症状、神経系の刺激症状	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、アセチルシステイン	1日 埼玉県 84 1779
13500mg	14.2 μg/mL 4時間	24歳 女性 kg	新ルルA(不明)、パブロンゴールド(不明)、パブロンL(不明)	経口	意識障害、肝由来酵素異常	胃洗浄、活性炭投与	1日 神奈川県 58 3315

1/6 ページ

アセトアミノフェン

薬量	血中濃度	年齢 性別	曝露物質・曝露量	経路	症状	治療	入院 都道府県 ID
13000-12000mg	117 μg/mL 5.5時間	21歳 女性 40kg	パブロンS(90T推定)、新ルルA錠(30-40T推定)、トリブラ・S(10T推定)	経口	白血球増多	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、アセチルシステイン、輸液	7日 茨城県 737 1348
11200-10900mg	50.8 μg/mL 12.7時間	25歳 女性 kg	新ルルA錠(100T)、PL顆粒(3-4色)、ハルシオン(4T)	経口	消化器系の刺激症状、下痢、腹痛、肝由来酵素異常	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、アセチルシステイン、輸液、グルタチオン	7日 神奈川県 59 3315
11000mg	62.64 μg/mL 1.33時間	18歳 女性 47kg	新ルルA錠(110T)	経口	消化器系の刺激症状、発熱、嘔吐、腹痛、カリウム異常、出血傾向	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、酸素マスク、アセチルシステイン	4日 東京都 672 3022
11000mg	35 μg/mL 0.75時間	16歳 女性 kg	パブロン(110T)、イブ(24T)	経口	消化器系の刺激症状、意識障害	活性炭投与、下剤投与、輸液、アセチルシステイン	2日 埼玉県 95 1779
11000mg	129.76 μg/mL 4時間	18歳 女性 65kg	新ルルA錠(110T)	経口	消化器系の刺激症状、腹痛、口腔粘膜刺激症状	胃洗浄、アセチルシステイン	5日 新潟県 704 3486
11000mg	8.3 μg/mL 11時間	18歳 女性 51kg	新ルルA錠(110T)、缶チューハイ(350mL)	経口	消化器系の刺激症状、意識障害	アセチルシステイン	2日 新潟県 34 3486
10800mg	1.674 μg/mL 5時間	27歳 女性 kg	ベンザエース(72T推定)、チバテンR(14日分推定)、セルナミン(14日分推定)、チブローメル(14日分推定)、レキソタン(14日分推定)	経口	呼吸抑制、嘔吐、意識障害、心電図上波形異常	活性炭投与、酸素マスク、輸液	3日 新潟県 699 3486
10800mg	47.2 μg/mL 2時間	22歳 女性 kg	コンタック総合かぜ薬 薬・夜タイプ 青色錠(72T)	経口	消化器系の刺激症状、顔面蒼白、頻脈、意識障害	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、輸液	3日 東京都 665 3022
10300mg	24.31 μg/mL 2.32時間	35歳 男性 70kg	パブロンS錠(100T)、セフゾン(2T)、ベレックス錠1.0g(2色)	経口	意識障害	胃洗浄、活性炭投与、アセチルシステイン、人工呼吸	2日 東京都 663 3022
10200mg	37.459 μg/mL 4時間	24歳 男性 73kg	新ジキナエース(68cap)、フジアロー外傷液(100mL)	経口	呼吸抑制、口渇、意識障害、肝由来酵素異常	酸素マスク、輸液、アセチルシステイン、鎮静剤	3日 新潟県 693 3486
10000mg	70.8 μg/mL 4時間	29歳 女性 kg	パブロンS(100T)、ハルシオン(6T)	経口	頻脈、高血圧、意識障害、肝由来酵素異常	胃洗浄、活性炭投与、下剤投与、輸液、アセチルシステイン	4日 埼玉県 87 1779
10000mg	20.9 μg/mL 12時間	40歳 女性 kg	パブロンS錠(100T)、換剤1000mL	経口	顔面蒼白、発熱、意識障害、筋由来異常	輸液	9日 神奈川県 69 3315
10000mg	43.44 μg/mL 4時間	25歳 男性 90kg	パブロンS錠(100T)	経口	消化器系の刺激症状、意識障害	輸液	7日 新潟県 689 3486
10000mg	18.45 μg/mL 6時間	17歳 男性 kg	エスタックAD錠(100T)、奥眠(90T)	経口	消化器系の刺激症状、呼吸不全、下痢、意識障害、腎不全、ビリルビン異常	アセチルシステイン	5日 新潟県 20 3486
10000mg	94.558 μg/mL 5.5時間	30歳 女性 46kg	新ルルA錠(100T)	経口	胸痛、腹痛、意識障害、肝臓の異常、肝由来酵素異常	輸液、アセチルシステイン、肝症薬剤	8日 新潟県 49 3486
9800mg	3.323 μg/mL 10時間	52歳 女性 kg	総合感冒薬(100T約推定)、ドメスト(不明)	経口	消化器系の刺激症状、神経系の刺激症状、顔面蒼白、体温低下	胃洗浄、活性炭投与、加温、アセチルシステイン	8日 新潟県 684 3486
9500mg	59.5 μg/mL 6時間	15歳 女性 kg	パブロンゴールド(95T)	経口	意識障害、心電図上 波形異常	胃洗浄、活性炭投与、輸液、アセチルシステイン	2日 埼玉県 79 1779

2/6 ページ

厚生労働科学研究費補助金(化学物質リスク研究事業)
分担研究報告書

日本中毒情報センターで収集したヒト急性中毒症例に関する研究

分担研究者 黒木由美子 (財)日本中毒情報センター 施設長
研究協力者 飯塚富士子 (財)日本中毒情報センター 係長
研究協力者 波多野弥生 (財)日本中毒情報センター 課長
研究協力者 渋谷 清香 (財)日本中毒情報センター 職員
研究協力者 岡根 千晶 (財)日本中毒情報センター 職員
研究協力者 糸井 知美 (財)日本中毒情報センター 職員
研究協力者 杉原 衣美 (財)日本中毒情報センター 職員
研究協力者 吉岡 敏治 大阪府立急性期・総合医療センター 医務局長

研究要旨

日本中毒情報センター(JPIC)では、1986年設立以来、医療機関から受信した急性中毒に関する問い合わせについて、急性中毒症例追跡調査用紙にてヒト急性中毒症例の収集を行ってきた。本研究では、前年度に引き続き、JPICでレトロスペクティブに収集し血中濃度の記載がある症例について検討を行った。

1986年9月～2003年12月に、医療機関から収集した血中濃度値を含むヒト急性中毒症例520症例のうち、前年度入力完了した234症例を除く286症例を「JPIC内部用ヒト急性中毒症例入力データベース」に引き続き入力した。

入力した286症例の原因化学物質は、テオフィリン37症例、フェノバルビタール28症例、カルバマゼピン17症例、フェニトイン14症例、リチウム12症例、バルプロ酸11症例などの医薬品が多数を占めた。また、工業用品では、銅15症例、水銀13症例、鉛9症例の順であり、そのほか家庭用品7症例、自然毒が5症例、食品5症例など化学物質は多岐にわたっていた。今後、プロスペクティブに収集した症例と比較し、解析を行う。

次に、JPICで2004年1月～12月に医療機関から受信し、本研究班で前年度作成した「ヒト急性中毒症例追跡調査用紙」を用いて収集した血中濃度値を含むヒト急性中毒症例46症例を、同様にデータベースに入力した。さらに、アセトアミノフェン、アスピリン、パラコートについて血中濃度と重症度(致死)のノモグラムを作成して検討を行った。ノモグラムを作成した際の共通の問題点として(1)分析値が摂取何時間後の値であるか明確ではない場合がある、(2)分析値の精度管理が行われていないため個々の比較が困難であるなどが前年度同様あげられた。しかし、本年度から新たに用いた「ヒト急性中毒症例追跡調査用紙」では、中毒症状などが選択式になったため、評価に必要な症状や生化学検査値および測定単位などの欠損事項が減少し、各症例間の比較が容易になった。

JPICで全国的に収集しているヒト急性中毒症例は、ヒトにおける化学物質のリスク評価を行うための重要な情報源であり、さらに収集体制の強化・支援が必要であると考える。今後、本研究で推進しているプロスペクティブなヒト急性中毒症例収集と評価をより充実するために、化学物質(群)別のヒト急性中毒症例収集用紙を用いた収集が必須であり、実施していく予定である。

最終年度は、引き続きJPICで収集した血中濃度を含むヒト急性中毒症例のデータ入力と解析を行うとともに、海外諸国におけるヒトデータ収集と利用、評価方法について実態調査を行う。

A. 研究目的

日本中毒情報センター(以下 JPIC と略す)では、年間約 36,000 件の化学物質や自然毒に関するヒト急性中毒に関する問い合わせを受信している¹⁾。また、1986 年設立以来、医療機関から受信した問い合わせのうち(1)重症な症例、(2)まれな症例、(3)新製品の症例、(4)研究目的で一部特定の化学物質の症例などについて、急性中毒症例追跡調査用紙にてヒト急性中毒症例の収集(アンケート方式)を行っており、2003 年 4 月からは問い合わせがあった全医療機関に対し調査協力を依頼している。

さらに、2004 年からは、前年度、本研究班で作成した「ヒト急性中毒症例追跡調査用紙」にて、中毒症例の収集を実施している。

本研究では前年度に引き続き、1986-2003 年に JPIC で収集した血中濃度の記載がある中毒症例について、急性中毒症例データベースへデータを入力する。さらに、新しく作成したヒト急性中毒症例調査用紙を用いて収集し得た 2004 年の急性中毒症例も同様に入力し、検討を行う。

B. 研究方法

1. ヒト急性中毒症例データの入力 (1986-2003 年収集データ)

1986 年 9 月～2003 年 12 月に JPIC で受信した医療機関からの問い合わせのうち、受付登録用紙および急性中毒症例調査用紙(資料 1, 2)にて追跡調査し、かつ、血中濃度の記載があったヒト急性中毒症例は 520 症例であった。本年度は、前年度データベースへ入力し解析が終了した 234 症例を除く、286 症例を、引き続き「JPIC 内部用ヒト急性中毒症例データベース」へ入力した。

2. ヒト急性中毒症例データの入力 (2004 年収集データ)

2004 年 1 月～12 月に JPIC で受信した医療機関からの問い合わせのうち、前年度、本研究班で作成した急性中毒症例追跡調査用紙(資料 3)にて追跡調査し、かつ、血中濃度の記載があるヒト急性中毒症例は 46 症例であった。

46 症例を「JPIC 内部用ヒト急性中毒症例データベース」へ入力し、検討した。

C. 研究結果

1. ヒト急性中毒症例(1986-2003 年 収集データ)

本年度は、前年度に引き続き 1986-2003 年に収集した 520 症例中、286 症例のヒト急性中毒症例のデータを入力し、520 症例すべての入力が完了した。

本年度入力した 286 症例の化学物質一覧を表 1 に示す。

テオフィリン 37 症例、フェノバルビタール 28 症例、カルバマゼピン 17 症例、フェニトイン 14 症例、リチウム 12 症例、バルプロ酸 11 症例などの医薬品が多数を占めた。

工業用品などでは、銅 15 症例、水銀 13 症例、鉛 9 症例の順であった。そのほか家庭用品(タバコ、除光液、体温計、保温剤など) 7 症例、自然毒(トリカブト、ギンナン、きのこなど) 5 症例、食品(しょう油など) 5 症例などであり、化学物質は多岐にわたっていた。

患者の年齢層は、0-5 歳 58 症例、6-12 歳 15 症例、13-19 歳 30 症例、20-64 歳 152 症例、65 歳以上 31 症例、不明 1 症例であり、成人層が半数を占めた。なお、性別は、男性 146 症例、女性 140 症例であった。

発生場所は 186 症例(65.0%)が居住内

であり、そのほかに医療機関 40 症例、職場 14 症例、屋外 10 例、その他（高齢者施設、公共施設、車内他）17 症例、不明 19 症例などであった。

摂取理由は、自殺企図が最も多く 162 症例 (56.6%)、不慮の事故が 57 症例 (19.9%)、誤使用 17 症例、労災 13 症例、その他 37 症例、不明 31 症例であった。

図 1 に、入力した症例のデータベース入力画面を示した（フッ化水素、医薬品 + アルコール、マニキュア除光液、タバコ、ギンナン）。

2. ヒト急性中毒症例（2004 年収集データ）

2004 年 1 月～12 月に JPIC で受信し、前年度本研究班で作成した急性中毒症例収集用紙を用いて追跡調査し得た医療機関からの問い合わせのうち、原因化学物質の血中濃度が測定されていた 46 症例をデータベースへ入力し、解析した。

46 症例の血中濃度が測定された原因化学物質は、アセトアミノフェン (16 症例)、テオフィリン (6 症例)、アスピリン (3 症例)、パラコート (3 症例)、バルプロ酸ナトリウム (2 症例)、ニトラゼパム (2 症例)、臭化メチル (1 症例)、メタノール (ウインドウォッシャー液、1 症例) などであった。

46 症例の年齢層別摂取理由を、表 2 に示した。

年齢層は、0-5 歳が 18 症例 (39.19%)、次いで 30-39 歳が 8 症例 (17.4%)、20-29 歳が (15.2%) であった。なお、性別は男性 23 症例、女性 23 症例であった。

発生場所は 40 症例 (87.0%) が居住内であり、そのほかに医療機関、職場、車内、屋外などであった。

摂取理由は、自殺企図 21 症例 (45.7%)、不慮の事故 17 症例 (37.0%)、そのほか誤

使用、乱用、労災などであった。

表 3 に、46 症例の詳細内容を示した。

3. ノモグラムの作成

収集した 46 症例のうち、血中濃度と重症度 (または致死) のノモグラムが確立されているアセトアミノフェン (16 症例)、アスピリン (4 症例)、パラコート (3 症例)、の 3 化学物質について、前年度同様、データ解析し、ノモグラムの作成を行った²⁻⁴⁾。

1) アセトアミノフェン

血中濃度と重症度 (肝障害) のノモグラムを図 2 に示す²⁾。

重症の肝障害の指標である AST 値が 1000IU/L 以上の症例はなかった。

ノモグラムからの重症肝障害予測では、この 16 症例中、1 症例は Possible risk、15 症例は No risk であった。No risk 群の中で AST が 700IU/L まで上がった症例があったが、因果関係は明らかではない。なお、2 症例は判定不可 (測定時間がノモグラム範囲外など) であった。しかし、1 症例では 85.8 μ g/mL (推定摂取後 36 時間以内) 高値であった症例があったが、特に肝障害は発現していない。

なお、いずれも肝障害が重篤になる既往歴 (アセトアミノフェン常用者、慢性アルコール中毒など) は明らかではなかった。

2) アスピリン

血中濃度と重症度のノモグラムを図 3 に示した³⁾。

重症度を判定する症状の指標は、重症は昏睡、痙攣、代謝性アシドーシスなど、中等症は顕著な過呼吸、頻呼吸、混迷、興奮状態など、軽症は軽い過呼吸、混迷、嘔吐、発熱などが発現することである。

4 症例のうち、2 症例は嘔気、嘔吐のみ、2 症例は嘔気、嘔吐、耳鳴り、聴力障害が認められた。

ノモグラムからの重症度予測では、4 症例とも無症状の範囲であった。

3) パラコート

パラコート急性中毒症例 3 症例の血中濃度と生死のノモグラムを図 4 に示した⁴⁾。

3 症例すべてが、死亡例であった。

ノモグラムから死亡が予測された症例は 2 症例、1 症例は測定時間が摂取後 50 分と早かったため判定不可の範囲であったが、血中濃度は $99.8 \mu\text{g/mL}$ と高値であった。

D. 考 察

JPIC が全国的に収集しているヒト急性中毒症例は、ヒトにおける化学物質のリスク評価を行うための重要な情報源となり得る。本研究では、前年度に引き続き、1986 年 9 月～2003 年 12 月に JPIC で受信した医療機関からの問い合わせのうち、急性中毒症例追跡調査用紙に血中濃度の記載があるヒト急性中毒症例 520 症例のうち、前年度入力した 234 症例を除く、286 症例のデータを「ヒト急性中毒症例データベース」へ入力した。

本年度入力した化学物質は、重症度評価や毒性評価を行うための、例えばノモグラムのような明確な指標がないため、個別化学物質のリスク評価にまではいたらなかった。しかし、これらの症例は、発現した中毒症状、原因化学物質の血中濃度や臨床検査値を含む貴重な症例であり、その蓄積により、今後、評価が可能になっていくことが予想される。症例をさらに収集し、的確な指標を検討していくことが重要である。

次年度は、これらのレトロスペクティブに収集したデータとプロスペクティブに収集したデータの比較検討を行う予定である。

本年度はさらに、前年度本研究班で作成した急性中毒症例追跡調査用紙(資料 3)を活用し、2004 年 1 月～12 月に JPIC で受信し、追跡調査し得た血中濃度の記載があるヒト急性中毒症例 46 症例に関して解析し、アセトアミノフェン、アスピリン、パラコートについてノモグラムを作成した。

前年同様、血中濃度と重症度(または致死)のノモグラムを作成する上での共通の問題点として、(1)分析値が摂取何時間後の値であるか明確でない場合がある、(2)分析値の精度管理が行われていないため個々の比較が困難であるなどの問題点が存在した。しかし、本年度から新たに使用している症例調査用紙では、中毒症状などが選択式になったため、評価に必要な症状や、生化学検査値および検査値測定単位などの欠損事項が減少し、各症例間の比較が容易になってきている。さらに、本研究班で本年度作成した個別化学物質(群)の症例調査用紙を用いることにより、症例評価に的を絞った中毒症例収集が可能になることが期待される。

2004 年 2 月、イギリスのカーディフにおいて「International Programme on Chemical Safety (IPCS) Workshop on the Collection, Reporting and Use of Human Data」が開催され、本研究の途中成果を発表した⁵⁾。この IPCS ワークショップでは、ヒトデータの利用は、リスク評価のみならず、中毒医療への貢献、化学災害サーベランスにおいても重要であり、評価が可能な指標を有したプロスペクティブな収集および評価方法の確立の

必要が訴えられた。

さらに、2004年、欧米では化学物質のリスク評価、中毒医療への貢献、化学災害サーベイランスのためのヒトデータの収集・利用に関する現状の発表が6月にドイツ、ストラスブルグで開催された欧州臨床中毒学会(EAPCCT:The European Association of Poisons Centres and Clinical Toxicologists)⁶⁾において、また、IPCS主催のシンポジウム「The Surveillance of Chemical Risks - Needs, Developments and Possible Applications」が9月に米国、シアトルで開催された北米臨床中毒学会(NACCT:The North American Congress of Clinical Toxicology)⁷⁾において行われ、症例収集・利用方法、中毒センターの貢献、世界規模での協力体制などについて議論されている。

特に米国では、2001年の9.11事件以降、米国内中毒センター連合(AAPCC: American Association of Poison Control Centers)と米国厚生省疾病管理・予防センター(CDC: Centers for Disease Control and Prevention)が協力し、衛星通信を駆使して全米の中毒センターのヒト症例データを4-10分で更新できるリアルタイムの化学物質サーベイランスシステムを開発し、2003年3月から稼働している⁶⁾。これは、化学災害・テロのみならず、化学物質のリスク評価、中毒医療の分野へも十分貢献可能な症例収集システムである。

なお、2005年5月にドイツ、ベルリンで開催される「IPCS Workshop on Poisons Centres and the Use of Human Data in Consumer Risk Assessment」において、本研究班の経過を発表する予定であり、欧米諸国と協力できるデータ収集、解析方法の検討を進める予定である。

今後、ますますプロスペクティブなヒト急性中毒症例収集と評価方法の検討が必要であり、それを充実するために、化学物質(群)別の収集項目の検討、および収集体制の強化が必要であると考えられる。

研究の最終年度は、引き続きJPICが収集した血中濃度を含むヒト急性中毒症例のデータ入力と解析を行い、さらに、海外諸国におけるヒトデータ収集と利用、評価の実態を調査する予定である。

E. 結 論

2年の研究期間において、JPICで受信した医療機関からの問い合わせのうち、血中濃度の記載があるヒト急性中毒症例合計566症例について、本研究で構築した「JPIC内部用ヒト急性中毒症例データベース」へ入力し、検討を行った。JPICで全国的に収集しているヒト急性中毒症例は、ヒトにおける化学物質のリスク評価を行うための重要な情報源であり、今後収集体制の強化・支援が必要であると考えられる。

また、プロスペクティブなヒト急性中毒症例収集と評価をより充実するために、化学物質(群)別のヒト急性中毒症例収集用紙を用いた収集が必須であり、実施していく予定である。

最終年度は、引き続きJPICが収集した血中濃度を含むヒト急性中毒症例のデータ入力と解析、および海外諸国におけるヒトデータ収集と利用、評価の実態の調査、検討を行う。

参考文献

- 1) (財)日本中毒情報センター: 2002年受信報告. 中毒研究 2003;16, 213-243.
- 2) Smilkstein M. J. et al.: Efficacy

of Oral N-Acetylsysteine in the Treatment of Acetaminophen Overdose. NEJM 1988;319:1557-1562.

- 3) Done A. K. : Salicylate Intoxication. Pediatrics 1960; 26: 800-807.
- 4) Proudfoot A. T. : Paraquat Poisoning: Significance of Plasma-Paraquat Concentrations. Lancet 1979; 2: 330-332.
- 5) IPCS Workshop on the Collection Reporting and Use of Human Data (CARDIFF, UK) 配布資料, 2004.
- 6) Abstracts of European Association of Poisons Centres and Clinical Toxicologists XXIV International Congress, 2004; 42: 395-564.
- 7) 2004 North American Congress of Clinical Toxicology (Abstracts), Journal of Toxicology Clinical Toxicology, 2004; 42: 685-826.

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 黒木由美子、吉岡敏治、大橋教良他 : 血中濃度分析値を含むヒト急性中毒症例収集・報告統一システムの構築. 中毒研究 2005, 18 (3) : 掲載予定.
- 2) Clinical Toxicology 投稿予定.

2. 研究発表

- 1) 黒木由美子、吉岡敏治、大橋教良他 : 血中濃度分析値を含むヒト急性中毒症例収集・報告統一システムの構築、第26回日本中毒学会総会(広島)、2004年7月発表.
- 2) IPCS Workshop on Poisons Centres and the Use of Human Data in Consumer

Risk Assessment(ドイツ、ベルリン)、2005年5月発表予定。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

資料 1

II.

受付登録用紙

担当

種類	1. 急性中毒 2. 食中毒(細菌性) 3. 慢性中毒 4. 副作用 5. 異物 8. その他
受付日	20 年 月 日 時 分 (24時間表記) (午前・午後)
連絡者 患者との関係	1. 医療機関 8. その他 ()
会員番号	
企業・行政	TEL
医療機関 所属	
名前	
TEL	都道府県
FAX	
患者 数 ()	
名前	
年齢: 歳 月 (1. 成人 2. 小児 3. 成人 4. 高齢者 9. 不明)	
既往症 () 体重: () kg	
性別: 1. 男 2. 女 9. 不明	
動物の場合 1. イヌ 2. ネコ 8. その他 ()	
中毒原因物質 大分類	1. 家庭用品 2. 医療用医薬品 3. 一般用医薬品 4. 農薬用品 5. 自然毒 6. 工業用品 7. 食品、その他
物質数 ()	商品名 1 量 会社名
	他の商品名
	商品形態 1. 液体 (1. エアゾール 2. ハンドスプレー 8. その他) 2. 固体 (1. 粉末 8. その他) 3. ガス (1. 気筒型 8. その他) 8. その他 9. 不明 内容 ()
	発生時の形態: 1. 商品と同じ 2. 商品と異なる () 9. 不明
経路	1. 経口 2. 吸入 3. 経皮 4. 眼 5. 耳 6. 咬傷 7. 刺傷 8. 注射 9. 粘膜 10. 胎盤 11. 全身曝露 99. その他 99. 不明 内容 ()
発生場所	1. 居住内 2. 仕事場 3. 医療施設 4. 高齢者施設 5. 学校・幼稚園・保育所 6. 屋内の公共のスペース 7. 車内 8. 屋外 99. その他 99. 不明 内容 ()
状況	1. 不慮 [1. 労災 2. 医療上の事故 3. 誤使用 8. その他の不慮の事故 9. 不明] 2. 故意 [1. 自殺企図 2. 医療上の事故 3. 誤使用 4. 乱用 6. 悪意による事故 9. 不明] 8. その他 9. 不明 内容 ()
発生年月日	20 年 月 日 時 分 (24時間表記) (午前・午後) (1. 確定 2. 推定 3. 発見時刻 9. 不明)
受診年月日	20 年 月 日 時 分 (24時間表記) (午前・午後) (1. 電話相談のみ 2. 来院途中)
質問内容	1. 商品情報 2. 毒性 3. 症状 4. 治療 5. 分析 6. 中毒全般 8. その他 () 9. 不明
電話後の症状	1. 無 2. 有 9. 不明
症状の詳細	バイタル異常 1. 無 2. 有 9. 不明 体温 °C 血圧 / 脈拍数 /分 呼吸数 /分 意識レベル GCS=E() V() M() or JCS=I・II・III- () 意識内容 () 呼吸器系 11. 呼吸器の刺激感 12. 咳 13. 喘鳴 14. 息苦しさ(呼吸困難) 循環器系 21. めまい 22. 動悸 24. 脈 (a. 頻脈 b. 徐脈 c. 不整脈) 25. チアノーゼ・顔面蒼白 27. 血圧 (a. 低下 b. 上昇) 消化器系 31. 悪心 32. 嘔吐 33. 腹痛 34. 下痢 35. 上部消化管の痛み・違和感 神経系 41. しびれ 43. 意識障害 44. 頭痛 45. 興奮 46. 幻覚 47. 昏倒 眼 51. 痛み 52. 流涙 53. 違和感 54. 充血 55. 瞳孔 (a. 縮小 b. 散大) 皮膚 61. 痛み 62. 発赤・紅斑 63. 水疱 64. ただれ 65. 腫脹 66. かゆみ 67. 発疹 68. 違和感 その他 7. ()
処置の有無	1. 無 2. 有 9. 不明 内容 ()
症状(経過等)、状況、質問内容、処置等の詳細	
情報提供の詳細	
回答	1. 追跡不要(無毒) 2. 経過観察後受診 3. 直ちに受診 4. 異なる情報提供
情報源	1. 基礎情報 2. 手引 3. OP 4. 症例で学ぶ 5. 医薬品集・農薬要覧 6. PI 8. その他 () 9. なし
追跡調査	1. 症例調査送付要 2. 症例調査送付不要 3. 電話フォロー要 4. 電話フォロー不要
ヒト症例依頼	依頼: 1. 無 2. 有 承諾: 1. 無 2. 有 3. 保留 9. 不明

急性中毒症例調査用紙

記入年月日 年 月 日

施設名 記入者 科 先生

所在地 TEL ()

患者カルテNo.	性別	1. 男 2. 女 3. 動物 4. 不明	M T S H	生年月日	年 月 日	年齢(歳 ヶ月) 体重(kg) 職業()
既往歴						
発生年月日		発生時刻				
年 月 日 (曜日)		AM 時 分 PM 時 分				
発生場所 1. 自宅 2. 屋外 3. 工場 4. 院内 5. 老人ホーム 6. 養護施設 7. 学校 8. その他() 9. 不明						
中毒原因物質 物質数() 品名および量:						
先生の方で判明した成分(含有量)等がありましたらご記入ください。 判明理由 1. 容器から(外観) 2. 患者から 3. 家族から 4. 分析から 5. その他() 成分(含有量):						
分類番号		商品名		統一名		
経路 1. 経口 2. 眼 3. 経気道 4. 経皮 5. 咬刺傷 6. その他() 7. 不明						
状況 1. 自殺 2. 他殺 3. 医療事故 4. 労災 5. その他の不慮の事故 6. 不明 7. その他()						
受診年月日		受診時刻				
年 月 日 (曜日)		AM 時 分 PM 時 分				
現病歴(初診までの経過)						
搬入までの処置: 0. 無し 1. 催吐 2. 水洗(眼、皮膚) 3. 胃洗浄 4. 吸着剤 5. 下剤 6. 人工呼吸 7. その他() 8. 不明						
来院時症状						
0. 無症状						
01. 意識レベル(Ⅲ-3-9度方式: I-0, II-10, III-100, 又はGlasgow coma scale: M1, M2, M3, M4, M5, M6 I-1, II-20, III-200, V1, V2, V3, V4, V5 I-2, II-30, III-300, E1, E2, E3, E4 I-3, 又は、I-0 清明, I-1 傾眠, I-2 昏迷, I-3 半昏睡, I-4 深昏睡)						
02. 筋線性痙攣, 03. 反射亢進, 04. 痙攣, 05. 運動麻痺						
11. 顔面蒼白, 12. 紅潮, 13. 頻脈, 14. 徐脈, 15. 不整脈, 16. 低血圧, 17. ショック, 18. 心停止						
21. 呼吸困難, 22. 過呼吸, 23. 呼吸抑制, 24. チアノーゼ, 25. 呼吸停止						
31. 皮膚粘膜ビラン, 32. 灼熱感, 33. 疼痛, 34. 発赤(部位)						
41. 嘔気, 42. 嘔吐, 43. 腹痛, 44. 下痢, 45. 黄疸, 46. 腹水, 47. 腹膜刺激症状						
51. 乏尿, 52. 無尿						
瞳孔(61. 散瞳, 62. 縮瞳) 対光反射(63. 有, 64. 無)						
精神症状: 71. 興奮, 72. 幻覚						
80. その他()						

主たる治療

0. 経過観察のみ 1. 水洗(眼, 皮膚) 2. 嘔吐 3. 胃洗浄(洗浄液 _____ 回)
 4. 吸着剤(活性炭, アドソルビン®, ケイキサレート®) 5. 下剤(硫酸マグネシウム, 他 _____)
 6. 腸洗浄 7. 強制利尿(一般強制利尿, 酸性強制利尿, アルカリ強制利尿)
 8. 血液浄化法(血液透析 _____ hr. × _____ 回・血液濾過 _____ hr. × _____ 回・血漿交換 _____ 回)
 その他 _____ (回)
 9. 解毒剤・拮抗剤
 品名: _____ → _____ mg/hr. × _____ hr. 又は _____ mg × _____ 回
 _____ → _____ mg/hr. × _____ hr. 又は _____ mg × _____ 回
 10. OHP療法 _____ 回 11. 人工呼吸 _____ 日
 12. その他(_____)

経過中の出現症状

1. 中枢神経障害, 11. 意識障害(月 日), 12. 痙攣(月 日), 13. その他 _____ (月 日)
 2. 循環器系障害, 21. 低血圧(月 日), 22. 徐脈(月 日), 23. 不整脈(月 日)
 3. 呼吸器系障害, 31. 肺水腫(月 日), 32. 肺炎(月 日), 33. その他 _____ (月 日)
 4. 肝機能障害(月 日)
 5. 腎機能障害(月 日)
 6. 血液・凝固系障害, 61. メトヘモグロビン血症(月 日), 62. 溶血(月 日), 63. DIC(月 日),
 64. その他 _____ (月 日)
 7. その他 _____ (月 日)

検査成績

検査項目	正常値(単位)	来院時(単位)	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
AST(GOT)								
ALT(GPT)								
LDH								
Bil								
BUN								
Cr								
ChE								
MetHb								
COHb								
CK(CPK)								
PH								
Pco ₂								
Pco ₂								
BE								

薬物血中濃度測定: 1. 有 2. 無 (血中以外を測定されている場合は、コメント欄にご記入お願いいたします)

薬物名	測定日	時間	測定値	薬物名	測定日	時間	測定値	薬物名	測定日	時間	測定値
	月 日	時 分			月 日	時 分			月 日	時 分	
	月 日	時 分			月 日	時 分			月 日	時 分	

転帰: 1. 外来処置のみ

2. 入院加療

a) 退院(月 日) ア. 略治 イ. 完治

b) 転院(月 日) → 医療機関名(_____ TEL. _____) 科 _____ 先生
 ア. 重症管理目的 イ. 原疾患(_____)の治療目的 ウ. 略治転院

3. 死亡(月 日)

後遺症

診療にあたった医療従事者に、なんらかの症状が出現(二次感染)しましたか? はい いいえ
 (いずれかに○をつけてください)

コメント(裏面の空白を利用ください)

下記の項目に具体的にご記入ください。選択部分はあてはまる番号に○をお願いします。
 症状・処置・検査値等が有る場合は、お手数ですが、次ページ以降の項目に関してもご記入をお願い致します。

記入年月日 20 年 月 日

施設名			
記入者名			
記入者所属	連絡先TEL		
患者	性別(カルテID、イニシャルなど)	動物の場合 動物種()	
	年齢 歳 月 男・女 体重()kg	職業()	
既往症の有無	1. 無, 2. 有(), 9. 不明		
中毒原因物質 (記載は電話受付時の 情報です。異なる場合 は訂正をお願いします。)	商品名(物質名)	量(単位もあわせて)	
経路	1. 経口, 2. 吸入, 3. 経皮, 4. 眼, 5. 耳, 6. 咬傷, 7. 刺傷, 8. 注射(具体的に), 9. 粘膜(具体的に), 10. 胎盤, 11. 全身曝露, 98. その他(具体的に), 99. 不明		
発生年月日	20 年 月 日 時 分 (24時間表記)	(午前・午後) (確定・推定・不明)	
発生場所	1. 居住内, 2. 仕事場(具体的に), 3. 医療施設, 4. 高齢者施設, 5. 学校・幼稚園・保育所, 6. 屋内の公共スペース(具体的に), 7. 車内(具体的に) 8. 屋外(具体的に) 98. その他(具体的に), 99. 不明		
状況	1. 不慮 [1. 労災, 2. 医療上の事故, 3. その他の誤使用, 8. その他の不慮の事故, 9. 不明] 2. 故意 [1. 自殺企図, 2. 医療上の事故, 3. その他の誤使用, 4. 乱用, 6. 悪意による事故, 9. 不明] 8. その他(具体的に), 9. 不明		
現病歴 / 曝露状況			
受診の有無	1. 受診せず(電話相談等の場合) 2. 受診 20 年 月 日 時 分(24時間表記)		
症状の有無	来院前(主訴) 1. 無, 2. 有 →次ページへ, 9. 不明 来院時(初診時所見) 1. 無, 2. 有 →次ページへ 初診時 体温 ℃, 血圧 / , 脈拍数 /分, 呼吸数 /分, 意識レベルGCS=E()V()M() 来院後(経過中症状) 1. 無, 2. 有 →次ページへ		
処置の有無	来院前 1. 無, 2. 有 →次ページへ, 9. 不明 来院後 1. 無, 2. 有 →次ページへ		
診断	症状との因果関係 1. 無, 2. 有→(), 9. 不明		
入院有無	1. 無, 2. 有→期間(月 日~ 月 日) →次ページへ		
外来通院有無*	1. 無, 2. 有→期間(月 日~ 月 日) →次ページへ *退院後フォローを含む		
転院有無	1. 無, 2. 有→転院目的 1. 重症管理, 2. 略治フォロー, 3. 中毒以外の基礎疾患の治療, 8. その他(具体的に) 転院先病院名, 診療科, 担当医名, 電話番号		
転帰	1. 完治, 2. 略治, 3. 死亡, 9. 不明 死亡の場合 死亡年月日・時刻 月 日 時 分 死因:		
後遺症の有無	1. 無, 2. 有→(), 9. 不明		
重症度	1. 無症状, 2. 軽症, 3. 中等症, 4. 重症, 5. 死亡		

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項	
曝露時の 刺激症状・ 不定愁訴	経口摂取時の刺激症状	口唇・舌のしびれ感/刺激感/灼熱感/咽頭部不快感/咽頭部違和感/食道痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	呼吸器の刺激症状	鼻汁/鼻閉/鼻かぜ/くしゃみ/咳嗽/呼吸困難/胸部不快感(吸入)/咳痰	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	消化器系の刺激症状	悪心/嘔気/嘔吐/食欲不振/腹部不快感/胸部不快感(経口)	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	神経系の刺激症状	頭痛/頭重/めまい/耳鳴り	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	循環器系の刺激症状	動悸/心悸亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	顔面紅潮	顔面紅潮/発汗/冷汗/四肢温感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	顔面蒼白	顔面蒼白/倦怠感/疲労/四肢冷感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	発熱 [体温は特記事項へ]	悪寒/発熱/高体温	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	体温低下 [体温は特記事項へ]	体温低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	胸痛	胸痛/非心原性胸痛/胸部圧迫感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	失神	失神/脱力感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	失禁	尿失禁/便失禁	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	呼吸器 症状	頻呼吸 [呼吸数は特記事項へ]	頻呼吸/過呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
		呼吸抑制 [呼吸数は特記事項へ]	呼吸抑制/呼吸数減少/低換気/無呼吸/窒息/クスマウル大呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
努力性呼吸		努力性呼吸/陥没呼吸/シーソー呼吸/緩徐呼吸/起座呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
咽頭・喉頭浮腫		咽頭・喉頭浮腫/声門浮腫/咽頭・喉頭縮小/上気道浮腫	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
喘息様発作		喘息様発作/喘息/喘鳴/気管支拡張/気管支産痰	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
湿性ラ音		湿性ラ音	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
呼吸筋麻痺		呼吸筋麻痺/呼吸麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
呼吸不全		呼吸不全/ARDS	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
肺水腫		ピンクの泡沫状痰	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
喀血		喀血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
循環器 症状		チアノーゼ	チアノーゼ	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
		浮腫	浮腫/血管透過性の亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
		頻脈 [脈拍は特記事項へ]	頻脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
		徐脈 [脈拍は特記事項へ]	徐脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	不整脈(EKGなし)	不整脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	高血圧 [血圧は特記事項へ]	高血圧/血圧上昇	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	低血圧 [血圧は特記事項へ]	低血圧/血圧低下/ショック/脈拍微弱	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	心不全	心不全/心筋障害/心機能不全/うっ血性心不全	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
消化器系 症状	口臭	金属臭/にんにく臭/フェノール呼吸臭/アモンドオイル臭/ニコテン臭	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	口渇	口渇/口内乾燥感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	味覚異常	味覚・嗅覚機能の低下/苦味/酸味/金属味	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
	嚥下困難	嚥下困難	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	口腔粘膜異常	口腔内浮腫/口腔内粘膜の発赤/口腔・咽頭粘膜の充血/口内びらん/口腔の粘膜欠損/口腔内黄色潰瘍形成/口腔内出血/歯肉に青い線/舌潰瘍/咽頭粘膜のびらん/口内炎/舌炎/歯肉炎/黒毛舌症/唾液腺炎/咽頭炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	唾液分泌異常	唾液分泌過多/流涎/唾液・消化液の分泌低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	嘔吐 (嘔口時の一般症状と区別)	激しい嘔吐/繰り返す嘔吐	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	下痢	軟便/粘液便/粘血便/下痢	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	便秘	便秘	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	消化管出血	消化管出血/吐血/血便/血性下痢/タール便/下血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	消化管穿孔	消化性潰瘍/食道・胃穿孔/消化管穿孔/食道壊死	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腹痛	吃逆/胸やけ/おくび(げっぷ)/上腹部不快感/下腹部不快感/心窩部圧迫感/腹部膨満感/心窩部痛/上腹部痛/腹部疝痛/腹部痙攣/胃痙攣/子宮収縮/流産	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腸蠕動亢進	鼓腸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腸蠕動低下	腸蠕動の低下・消失/イレウス/麻痺性イレウス	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	膵臓の異常	膵炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	脾腫	脾腫	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
神経・精神 症状	意識障害 [意識レベルは特記事項へ]	意識障害/興奮/昏倒/頓眠/嗜眠/昏迷/昏睡/中枢神経抑制	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	見当識障害	見当識障害	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	記憶障害	記憶障害/健忘症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	言語障害	言語障害/構音障害/失語症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	精神症状	せん妄/パニック/不安/錯乱/興奮多幸症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	幻覚	幻聴/幻視	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	感覚異常	四肢しびれ感/末梢の灼熱感/知覚異常/先端疼痛症/知覚鈍麻/知覚脱失/固有感覚障害(触覚、振動感覚の減弱)/末梢神経炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	ギランバレー症候群	ギランバレー症候群	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	痙攣	痙攣/振戦/ふるえ/ミオクローヌス様の痙攣/テタニー/強直性発作/ミオクローヌス	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	筋線維性攣縮	筋線維性攣縮	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腱反射減弱	深部腱反射の減弱	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腱反射亢進	深部腱反射の亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	運動失調	運動失調/協同運動失調/パーキンソン症候群/舞蹈病/脱躰病/歩行失調/判読しにくい筆跡	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	筋力低下	筋力低下/脱力/筋の緊張低下/弛緩性麻痺/四肢麻痺/不全麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
肝症状	肝臓の異常	肝腫大/肝の圧痛/急性肝炎/劇症肝炎/肝性昏睡/肝障害/肝毒性/肝炎/腹水/肝不全/脂肪肝/貧血/肝細胞性貧血/胆汁うっ滞性黄疸/胆道閉塞性黄疸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
腎・泌尿器 症状	排尿障害・尿閉	排尿障害/排尿痛/尿閉	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腎不全	腎不全/急性尿細管壊死/近位尿細管損傷/腎尿細管障害/腎障害/腎毒性/腎炎/乏尿/尿量減少/無尿/濃縮尿/低張尿	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	尿色調・臭の異常	着色尿/暗赤色尿/アーモンドオイル臭尿/褐色尿/メヘモグロビン尿	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
	血尿(肉眼的)	血尿(肉眼的)	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
眼症状	視力障害	視力障害/一過性の盲目/視野狭窄/複視/視界の白色化/霧視/弱視/失明	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	羞明・眼痛	羞明/眼痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	色覚異常	色覚異常	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	縮瞳	縮瞳	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	散瞳	散瞳	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	対光反射の遅延	対光反射の遅延/対光反射の遅鈍化	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	眼振	眼振/垂直眼振/眼筋麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	角膜・結膜異常	角膜刺激症状/眼球穿孔/結膜刺激症状/結膜炎/流涙/充血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	眼内異常(眼底所見全て)	虹彩炎/水晶体色素沈着/白内障/球後神経炎/視神経炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	耳鼻咽喉症状	口腔粘膜刺激症状	咽頭痛/粘膜浮腫/粘膜腐食	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明
発声異常		失声/嗄声	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
聴力障害		聴力障害/聴力低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
鼻粘膜刺激症状		鼻淵/刺激症状/充血/鼻出血/紅斑/浮腫/鼻中隔潰瘍・穿孔	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
嗅覚異常		嗅覚異常/嗅覚喪失	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
皮膚症状・その他		関節痛	関節痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明
	筋痛	筋痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	皮膚の異常	浸疹/紅斑/出血斑/落屑/尋麻疹/蕁麻疹/搔癢/丘疹/紅色粟粒疹/水疱/蜂巣炎/黄斑/白斑/脱色/接触性皮膚炎/皮膚潰瘍/熱傷/乾燥/発赤/浮腫/壊死	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	爪・毛髪の異常	爪異常/脱毛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
その他			月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
			月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	

その他 症状関連 特記事項